

第 5 回 豊橋市行財政改革懇談会 議事録

1. 開催日時 平成 28 年 2 月 25 日（木）午後 4 時 00 分～
2. 開催場所 豊橋市役所政策会議室（東館 4 階）
3. 出席者 委員 12 名 《石原会長、功刀副会長、天野委員、伊藤委員、大久保（守）委員、大久保（裕）委員、梶川委員、木暮委員、鈴木委員、諏訪委員、富田委員、村松委員》
豊橋市 11 名 《堀内副市長、野尻総務部長、鈴木財務部長、広田企画部長、木和田行政課長、古池人事課長、牧野財政課長、夏目資産経営課長、稲田政策企画課長、小林行政課主幹、野中行政課長補佐》
4. 欠席者 世羅委員
5. 傍聴者 0 名

H28.2.25(木) 午後4時～

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。これまでに、懇談会委員の皆さまから、本市の行財政改革プランの策定に関し幅広い見地からご意見をいただき、それらを踏まえまして、「豊橋市行財政改革プラン2016」の最終案をまとめました。本日はその内容等について説明させていただきます。</p> <p>また、お手元に配布させていただいております「とよはしの家計簿」（行財政白書 概要版）についても、財務部より説明させていただきます。</p> <p>それでは、懇談会に入りますが、その前に副市長より、これまで懇談会の皆様にご意見をいただきましたことに一言お礼を申し上げさせていただきます。</p>
副市長	<p>今日が最後の懇談会になるわけですが、6月から5回に渡り、行政面から財政面など様々な分野において色々なご意見を賜り、熱心に議論していただきお礼申し上げます。石原先生をはじめ皆様には今回行財政改革の意見書をまとめて頂きましてありがとうございます。感謝申し上げます。</p> <p>意見書の冒頭を見ますと地方創生の名のもとで全国の自治体がそれぞれの「らしさ」を競い合う新たな新体制構造のもと、新たな改革が必要であり、市民の理解と自発的な取組が求めら</p>

発言者	要 旨
副市長	<p>れるとありますが、まさにそのとおりで、公共施設の根本的な見直し等、今回頂いたご意見を基にプランを作成し大変良い案ができたと思っております。具体的な数値目標もできる限り見直しをして作成しました。職員にとっても何度もダメ出しをされながらも一生懸命考え、良い勉強になったと思います。</p> <p>委員の皆様にはこれからも温かい目で見て頂きながら貴重なご意見を頂けますようお願い申し上げます、感謝申し上げます私の挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (行政課長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは石原会長に進行の方をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
石原会長	<p>ただ今から、豊橋市行財政改革懇談会を開催します。</p> <p>それでは、早速ですが、「豊橋市行財政改革プラン2016」と「とよはしの家計簿」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>《豊橋市財政改革プラン2016》について説明</p>
事務局 (財政課長)	<p>《とよはしの家計簿》について説明</p>
石原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今、事務局から「プラン」と「とよはしの家計簿」について説明がありましたが、本日は、最終回となりますので、委員の皆様からは、今回のプラン全般を見て、今後の市の行革の取組みに期待する点やこれまでの懇談会に参加されてこられたご感想などを含めまして、忌憚のないご意見をいただければと思います。</p> <p>ただし、プランに示されました行動計画の一つ一つの内容を質疑、確認するまでの時間はないように思われますので、このあたりは確認されたい点を絞った形でご質問等をお願いします。</p>

発言者	要 旨
鈴木委員	<p>このプランが確定しましたら、一件ずつ検討しながら学習したいと思います。豊橋市市民の事を考えてくれているのだという嬉しさと疑問と両方を感じました。疑問を感じたのは市民協働が非常に前面に出てきて、行政サービスが薄れるような感じがします。市民協働を改めて考えて欲しいと思います。</p>
石原会長	<p>基本方針 1 で「市民サービスを提供し続ける持続可能な財政基盤の確立」とありますが、行財政基盤のプランですので、総合計画の様な市民へのサービスが表に出てこない、その手前の運営方法についての部分が多いので、市民に説明の際にはプランの種類としてこうなるが、もとより市民サービスの質を高めていくということに注意をして事務局も説明していただきたいとおもいます。</p>
梶川委員	<p>はじめて参加しましたが、市の熱意を感じる事ができました。プランの進捗管理の方法で、行政課・財政課・政策企画課等の専門チームの検証は良いと思います。どうしても自分の担当だけになってしましますが、違う側面から検証できる取組は行政にとっても良い仕組みだと思います。また市民が参加する事によって、行政も透明化され、より良い活性化につながればと思います。</p>
天野委員	<p>スポーツ関係や学校関係の側面から行政を見ていましたが、この会に参加して市役所全体の様々な立場・仕事を知ることができ、色々なものを見直す良い機会になりました。</p>
木暮委員	<p>プランでは5年間の行動計画を具体的に落とし、年度ごとの達成目標が見える化し、達成するごとにさらに高い目標を設定していただきたいと思います。一方で、目標達成は大変なもので、厳しいと感じてしまうだけでは疲弊しますから、若い人たちが夢を持って前向きになれるようなことも併せて考えられる、明るい豊橋・住みやすい豊橋を期待しています。</p>
大久保（守）委員	<p>素晴らしい「家計簿」ができたと思います。しかし、上手にまとめてられており、危機感が伝わらず、借金はしても問題ないものと捉えられかねないと感じます。市民の要望はどんどん増大化しますが、それには費用が必要だということを認識してもらうため、市民の要望とコストを併せて記載するなど、市民も市の施策などを検証できることが大切だと思います。</p> <p>また、プラン記載の定員管理と給与の適正化について、給与の金額だけの問題だけではなく、職員が昇格したいと思う仕組み作りも必要と思います。</p>

発言者	要 旨
石原会長	「家計簿」の小中学校の教育にかかった費用（児童一人当たり年間）について 223,000 円となっていますが、市の一般財源部分での費用ですね。本来は事業費として 100 万円を超えていると思いますが、この表現では確かにリスクを感じないと思います。
伊藤委員	行財政改革プランにおいて、行動計画の目標値・主な取組が具体的に計上されており、実際に行われていくことを期待しています。
大久保（裕）委員	プランとして良くまとめられています。子供関連に関することが少なく、次回に期待したいと思います。行動計画の中で定例監査実施部局割合の目標値が 85%以上となっていますが、その考えについて教えてください。
行政課長	これは監査事務局の人員が限られているなか、できるだけ充実した監査をしたいとの思いから、全部局を目標とせず、実施割合の最低ラインの目標として設定しております。
石原会長	全国都市監査の平均でいいますと、課単位の定例監査を定期財務監査と言い換えて良ければ約 3 年に 1 度（33%）の割合で実施されています。相対評価しますと豊橋市は相当高い数字です。
諏訪委員	行政内部の変革、削減等についてよく努力されており、東三河全体を視野にいれた広域連合の発足等、大変評価しております。また新たな自治体経営と住民との関係において、行政だけでは限界があり、地域や住民主体に、豊橋らしさをだしたモデルになるような新しい事業など検討されると良いと思います。行政サービスの向上・事務効率化を図る ICT の利活用だけでなく、行政評価も活用すると良いと思います。
富田委員	「家計簿」について、分かり易く、ここから市民が行政に関心を持つことができると思います。
村松委員	「家計簿」について、安心はありますが、危機感は薄い感じがします。将来的な危機意識を持って、今、取組むことが大切です。プランの専門チームの検証についてですが、専門チームが現場をきちんと知って検証することが大切だと思います。次のステップも期待しています。
功刀委員	「家計簿」を見ると、現在の財政状況に安心してしまい、危機感が伝わらないのではないかと危惧しています。 また、このデータの正確性、根拠となるものを示していただきたい。プランでは女性管理職の割合を 20%以上と目標とし

発言者	要 旨
功刀委員	て記載されていますが、豊橋市として将来的にどのように考えていますか。
総務部長	目標について、管理職について男女比の構成からみますと20%となります。30%までは当分の間難しいと考えております。
功刀委員	母集団が小さいのに30%にするというのは、逆に男性差別になりますし、能力のないものを昇格させるのではなく、数は少なくとも能力に見合った女性登用を心がけて欲しいと思います。
石原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様から一通りのご意見やご感想をいただきましたので、最後に、わたしからも一言述べさせていただきます。</p> <p>40近くの施策がある行動計画ですが、重点推進項目でプランの優先順位の高い項目が網羅されており、非常に良く出来た内容だと思います。また、内部統制や監査を入れている中核市以上の団体はほとんど見受けられません。ここも非常に先進性が高いと思いますし、指標でプランの進捗度を管理するのは市民にとってもわかり易いと思います。また、プランでは市役所の全体に関わる数値目標ばかりが表に出ますが、業務改善実施数500件とあるように、現場の職員がプランに寄与できる面でも評価できます。</p> <p>それでは、懇談会はここで閉会とさせていただきます、あとは事務局でお願いします。</p>
事務局 (行政課長)	<p>石原会長、委員の皆さま、ありがとうございました。</p> <p>それではこれで豊橋市行財政改革懇談会を終了いたします。誠にありがとうございました。</p> <p>なお、このプランにつきましては、完成したのち懇談会委員の皆様へ郵送で送付させていただくとともに、市のホームページや4月の広報でもお知らせする予定ですので、ご覧いただければと存じます。</p>